

類別：機械器具 21 内臓機能検査用器具
管理医療機器 長時間心電用データレコーダ 35162000

特定保守管理医療機器 超小型防水ホルター心電計 Cardy 305 pico

【禁忌・禁止】

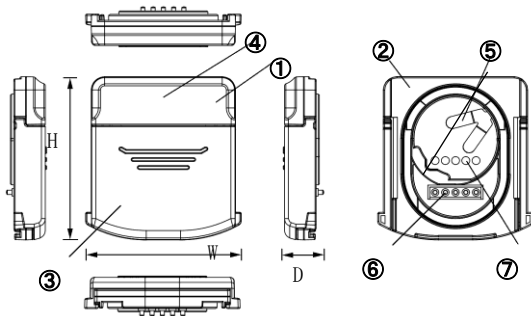
〈併用医療機器〉「相互作用の項参照」

- ・ MRI 検査を行う際は検査室に持ち込まないこと。
- ・ 高圧酸素患者治療装置に持ち込まないこと。
- ・ 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内で使用しないこと。
- ・ 装着したまま除細動を行わないこと。
- ・ 装着したまま電気手術器を使用しないこと。
- ・ 装着したまま X 線検査および CT 検査を行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

〈形状・構造〉

外形寸法：35.8(W) x 40.8(H) x 8.7(D) [mm] ±10%
重量：13g(電池含む) ±10%
電源：DC 3.0V (* Cardy305 専用電池)



名称	主な原材料
① アッパーケース	ABS+PC
② ロアケース	ABS+PC
③ スライダー	ABS+PC
④ LED	一般電気部品
⑤ 電池端子	SUS
⑥ 心電図入力ケーブル接続コネクタ	一般電気部品
⑦ データ出力コネクタ接触部	金

〈付属品〉

* Cardy memo 02

〈原理〉

1. 被検者の心電信号が、双極誘導電極から心電図入力部(最大 16mVp-p)に入力される。
2. 入力された被検者の心電信号は、入力保護回路、差動増幅器を通り、高入力インピーダンス信号から低出力インピーダンス信号に変換され、電圧増幅がなされる。
3. この信号はさらにローパスフィルタ、時定数回路を通り心電波形として有効な周波数成分をピックアップする。
4. マルチプレクサ回路により、3 チャンネル分の増幅された心電波形信号より 1 チャンネルずつ順次選択して A/D 変換回路へ送る。
5. A/D 変換されたデジタル信号は、コントロールユニットにて、心電図波形データ圧縮処理がなされる。
6. データ圧縮処理されたデジタルデータは、データバッファに蓄えられ、ある一定のデータが蓄積された時点で、内蔵フラッシュメモリーへ順次書き込まれる。
7. 内蔵フラッシュメモリーに記録されたデータは、USB 通信

ドライバーにて出力される。

【使用目的又は効果】

〈使用目的〉

患者が携行し、心電図記録を行うこと。

【使用方法等】

1. 準備

(1) 専用電池・電極のセット

専用電池を本装置の指定された場所に挿入します。電極に本装置を接続します。

(2) 電極の装着

被検者の所定の位置へ電極を装着します。

(3) 電極装着状態確認

* Cardy Controller 05 を使用し、心電図波形をモニターし電極装着状態を確認します。

2. 操作

(1) 記録の開始

* Cardy Controller 05 を使用し記録を開始します。記録開始を示す LED の点滅により、記録状態になっていることを確認します。

(2) 記録の終了

記録終了後に、電極及び専用電池を取り外します。

(3) データの取込・解析

本装置を、* Cardy Controller 05 または * Cardy Transfer Unit 05 に挿入してデータを転送します。転送したデータは、専用解析ソフトウェアを使用し解析を行います。

〈組み合わせて使用する医療機器〉

販売名称	届出番号
* 心電図入力コード PCH-305	11B2X0002112A040
* カルディロード P 305	11B2X00021A42766
* ディスゴ電極	13B1X10422000132

〈組み合わせて使用する非医療機器〉

* Cardy Controller 05
* Cardy Transfer Unit 05
ホルターカード S
* Cardy305 専用電池
専用解析ソフトウェア

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ・ 正常に記録する為に、記録開始前にモニター波形のチェックを必ず行ってください。
- ・ 強い磁気の発生する機器の近くでの使用は避けてください。なお、電気毛布、ホットカーペット等をご使用の場合、交流障害などが起こることがあります。障害が起こったときは、障害の原因を調査し、原因となっているものの使用を中止してください。
- ・ スライダーを閉めるときは指や異物などが挟まらないように注意し、赤い線が見えなくなるまでしっかりと閉めてください。
- ・ 本装置に強い振動、衝撃、落下などにより無理な力がかかった場合は防水機能が低下している可能性があります。
- ・ 入浴される場合は、40℃未満では 15 分以内、40℃以上 45℃未満では 10 分以内にしてください。
- ・ サウナ・ジャグジーバスなどでの使用や入浴時に入浴剤、石鹸等の界面活性剤を使用しないでください。
- ・ 携帯電話端末などの無線通信システムから発射される電波により、本装置へ影響を及ぼす可能性があります。各

取扱説明書を必ず確認してください。

医療現場で実状に応じてください。

- ・ 本装置にはサイバーセキュリティを確保する機能がありません。脅威にさらされた場合、被検者等の個人情報外部へ流出する可能性があります。最新の「安全管理ガイドライン」に沿ったサイバーセキュリティの確保をしてください。

〈相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)〉

- ・ 併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状 措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	検査室に持ち込まないこと。	MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。
高圧酸素患者治療装置	装置内に持ち込まないこと。	火災または爆発する恐れがあります。
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	雰囲気内で使用しないこと。	火災または爆発する恐れがあります。
除細動器	装着したまま除細動器を使用しないこと。	本体の破損、また除細動対象者へのエネルギーが不足する恐れがあります。
電気手術器(電気メス)	装着したまま電気メスを使用しないこと。	被検者が火傷する恐れがあります。
X線検査およびCT検査環境下での使用	装着したままX線検査およびCT検査をしないこと。	検査画像に映り込み診断の妨げになる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
次の条件を満たしている環境下で保管してください。
輸送・保管温度：-20～60℃
輸送・保管湿度：20～90%RH(結露なきこと)
2. 耐用期間
下記の保守点検を行った場合6年(当社データによる自己認証)但し、これは正規の保守点検などの推奨された環境で使用された場合で、使用状況により差異が生じることがあります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検事項〉

- ・ 使用前点検
本装置の破損がないかを確認する。(詳細は、取扱説明書の「使用前点検」を参照してください。)

〈業者による保守点検事項〉

- ・ 設置点検および定期点検
外観の破損状態の確認、本装置番号の確認、取扱説明書に従った機器使用説明、付属品の確認、保証書の発行及び保証内容の説明、電池投入時LED正常点灯チェック、コントローラ使用時のリモートスタート、加速度センサのチェック、動産保険の説明を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

ケンツメディコ株式会社

TEL 0587-96-2081